

短 報

島根県浅利海水浴場沖に出没する種不明イルカ

大辻 功

島根県立しまね海洋館 〒697-0004 島根県浜田市久代町1117番2

Porpoises of indistinct species off the coast of Asari, Shimane Prefecture, Western Japan.

Isao Ootsuji

*Shimane prefectural shimane Aquarium, 1117-2 Kushiro-cho, Hamada-shi, Sshimane, 697-0004, Japan*

島根県は東西に約200kmの海岸線をもつ日本海に面したところで、夏は透明度がよくきれいな海、冬は一変して黒々とし大きなしぶきをあげ、荒れた海になる。

2000年4月に島根県立しまね海洋館アクアスがオープンしてからは、海獣類のストランディングや目撃情報が少しずつ入るようになった。その中に一つおもしろい情報があったので紹介したい。

島根県の東西の中央付近に位置する江津市の浅利地区というところに海水浴場がある。当館からは東へ約15km、車で30分ぐらいのところだ。この近くで2～3年前より夏になるとイルカらしき姿を見ると地元の漁師さんから連絡をいただき2003年8月20日に当館の職員が聞き取り調査を行った。

去年までは3～4頭の群れだったが今年は5～6頭に増えている。今年は毎日ではないが夏の間はかなりの頻度で目撃しているとのこと。お盆前から調査前日までほぼ毎日来ていた。しかし、調査に行った日は目撃していないとのことであった。(以後目撃できず)

出没する場所は浅利海水浴場の浜から400～500mくらいの沖で、朝の5:00～7:00くらいには東向きに移動して行き、19:00前後には西向きに移動して行く。餌となる獲物があるときには30分程度ウロウロしているが獲物がない時にはゆっくり通過していく。朝の方が長い時間いる。

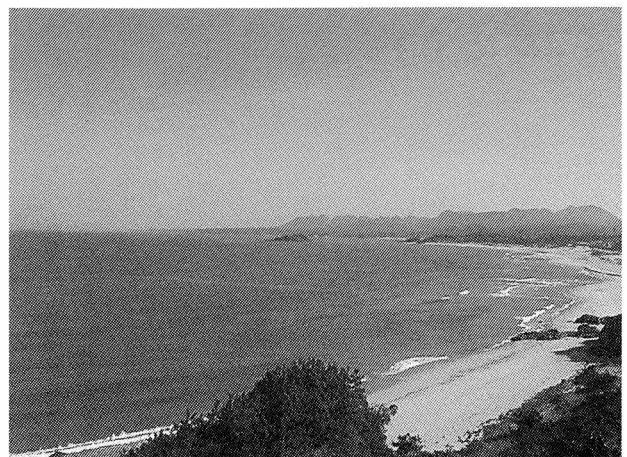
船で出て行くと近くまで群れで寄って来たり、まれに船の下を通過したりすることもある。カマスの群れを数頭で円になって取り囲み、そのうちの1頭が魚の群れの下からすごいスピードで口を開け水面上へと頭を出し、同時に口を閉じカマスを食べる様子がしばしば見られる。

さて、どんなイルカが目撃されたかということ、体長は3m以上、背ビレの高さは40cmくらい、嘴はない、腹側は一樣に白色、背側は黒～茶に見える、目があると思われる付近には白い円模様がはっきり見え、胴回りの太さの直径は40cm～50cmくらいで人が抱きかかえられるギリギリくらいの太さ。餌を捕まえたとき歯が見えた。

漁師さんの話しからするとどんな種かは解らないが、歯があるということからハクジラの仲間であることは間違いないようである。しまね海洋館アクアスが開館準備を始めた1998年4月から我々がこの目で確認しているハクジラの仲間は、バンドウイルカ・カマイルカ・ハナゴンドウであるが、いずれも漁師さんの特徴とはどこか違う。

漁師さんに鯨類図鑑を見てもらったが、図鑑の中には目撃した種は見つからず“新種?”。

皆さんは、どんな種と思いますか?



島根県浅利海水浴場